MUM2B

305477

□要

□明

MUM2B□胞株は、ぶどう膜黒色腫腫瘍の肝転移から樹立された転移性ぶどう膜黒色腫モデルである。この □胞株は、転移性ぶどう膜黒色腫の侵襲性および浸潤性の特性を研究するため、眼腫瘍学の研究において広く利用されている。 原発性ブドウ膜黒色腫□胞株とは異なり、MUM2Bはより顕著な転移性を示すため、進行性黒色腫の病態進行や治療抵抗性を解明するための重要なツールとなっている。

MUM2B□胞は、S-100、HMB-45、Melan-Aなどの主要なメラノーママーカーを保持していることが示されており、そのメラノサイト由来であることが確認されている。さらに、この□胞株は、in vitroで血管形成パターンを再現する能力を特徴としており、この現象は腫瘍の侵襲性や転移能と関連している。 MUM2Bは、アポトーシス抵抗性経路やミトコンドリア機能障害の役割を含め、メラノーマの進行を駆動する分子メカニズムの解明に用いられてきました。この □胞株は、NOXAなどの特定のアポトーシス誘導因子に対して p53非依存的な反応を示すことから、アポトーシス抵抗性腫瘍を標的とした治療戦略の探索において有用であることが強調されています。

MUM2Bを用いた研究は、転移性メラノーマの潜在的な治療標的の同定に大きく貢献している。 研究により、MUM2Bがγ-セクレターゼ阻害剤（GSI）などの革新的な化合物に対して感受性を持つことが示されている。これらの化合物は、正常なメラノサイトを温存しつつ、メラノーマ□胞において選択的にアポトーシスを誘導する。これらの知見は、新規治療薬の試験や転移性ブドウ膜メラノーマの生物学的理解を深める上で、 MUM2Bが不可欠なモデルとしての役割を果たしていることを裏付けている。

ティッシュ	眼、ぶどう膜
病気	メラノーマ

同義語

- MUM-2B
- MuM-2B
- Mum2B

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

識別子

引用

MUM2B（Cytion カタログ番号 305477）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_3447

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37°C、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

解離試薬	アキュターゼ

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	特定せず
民族	特定せず

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB